

清恵会第二医療専門学院 放射線技師科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・ 育人材像	1-1 理念・目的・育人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念/特長としてホームページ上にも掲載しており、理念に基づいての人材育成を行っている。また、目的は学生便覧に記載している。	本学院の理念は、母体である法人と共有するもので、学院創立の源である。これを元に目的を定め、日々の教育の中に生かしていくことが求められると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生便覧に「専門知識及び技術を習得し応用能力を養い人間形成に努め優秀な医療技術者を育成」と記しており、感性豊かな人材と医療・福祉に貢献出来る人材育成を重視している。	専門的知識と技術が習得出来るように、臨床現場で活躍中の講師や母体である病院を活用して、学習者自身の主体的な意欲や探究心を高められる様な取り組みが必要と考える。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	豊かな人間形成を目的に、心理学、臨床心理学、倫理学(生命倫理学)を科目立てしている。また、同グループの看護学科と理学療法士科から講師を迎え、基礎看護介護学や機能解剖学等の特色ある学びの場を設けている。	同じ医療職である他職種学科の学びを知る機会を設けることで、様々な視点や考え方を学ぶ場を提供しているが、狙い通りに学生に伝わることが出来ているか振り返りの機会も必要と考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長を生かし、少人数制教育で培われた伝統と経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングやOSCEにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	4年制大学の新設校が増加傾向にあるが、本学院1部では3年で免許取得が可能であるという点と、2部は夜間コースのため働きながら免許取得を目指す事が出来るという点で、大学とは別のニーズがあると考えている。	大学卒業者や社会人経験者がより学びやすい環境を整えること。また、臨床実習以外にも母体の清恵会病院を学びの場としてもっと活用していく必要があると考える。	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。理学療法士科も含めた第二学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念をベースに、1年間、更には5年間の目標を定め取り組んでいる。学院全体となる学院運営会議を月1回開催し報告と確認を行っている。	5年後までの定量目標や具体的な指標を決めて取り組むも、具体的な数値を交えて、放射線技師科における教務会議の場でも確認する必要があると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	5年後までの目標値をベースに、各科が評価指標を定め、更に個々の教員の目標にまで反映させ取り組んでいる。	放射線技師科の年間目標をベースに、各学年担当者がクラスの特徴も踏まえて取り組んでいる。しかしながら、未達の目標へ更に踏み込んだ取り組みも求められる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありがたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院の運営においては、組織図のもと学院長、事務長、各科教務部長をメンバーとした学院運営会議を中心に、必要な委員会を設置・開催している。	学院運営会議の下に、放射線技師科における教務会議を設け、月1回開催し、情報共有や報告を行っている。今後も、このペースで継続していく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院長をトップに事務長、教務部長、教務科長、教務主任、担任、副担任、教務事務で構成している。また、進路担当、臨床実習担当を配置し業務に当たっている。	教員の組織体制は整っているが、経験年数の少ない教員や、昼間部と夜間部の連携等、サポート体制の更なる充実を図る必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及びサービスに関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事については、設置主体法人の規程に基づき、法人理事会で決定される。給料規定も策定されている。	学院職員人事は、法人人事とも深く関連するが、専門学校の指定規則に則って配置されており、個々の能力向上を図りながら3年後5年後の先を見据えて行っていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程の編成は、学生便覧に明記している。教育理念に沿った具体的な取り組みにおいては、教務で理念を共有しながら取り組んでいる。	実施方針は、教務会議の場で確認しているが、実際に教育に反映されているのか具体的な確認作業が必要であると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	放射線技師科の目標をベースに、各学年担当が目標とその指標を定め取り組んでいる。	前期・後期で各担任によるクラス状況の報告と、指標と達成度の見込の確認を、教務主任と教務部長による面談を通じて行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程は、指定規則に従って基礎分野、専門基礎分野、専門分野で構成されており、その中に当学院独自の科目も組み込んでいる。また教科外活動という時間を設けて座学以外の勉学の場も設けている。	ここ数年、必要に応じてカリキュラムの一部変更等も行い対応してきた。数年後に指定規則の変更によるカリキュラムの改訂も見込まれており、更なる特色ある科目立てを考える必要があると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院が作成したカリキュラムによって講義を依頼している。国家試験科目においては、学院の要望と外部講師の意見も反映して行っている。	専門科目においては、常に最新の情報が講義に反映されるように、今後も工夫を凝らしていく必要があると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学年次におこなっている学院卒業生による教育講演、実習前の接遇教育、学会参加等の機会を設けて対応している。	必ずしも十分とは言えないため、母体の病院を活用して、病院見学や入門実習的な機会を増やす事も考える必要があると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	診療放射線技師養成所指導ガイドラインの教員に関する事項に定められている要項を満たした専任教員を確保している。	本学院の専任教員は、規定以上の臨床経験を全員が有している。専門以外の講師も文科省の定める条件を満たしている。必要に応じて、規定数以上の教員配置も今後考える必要があるのではないかと。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専任教員は様々な研修会、学会等に積極的に参加しており、関連資格の取得も含めて資質向上に取り組んでいる。	担当科目の専門性を高め、講義に反映できる取り組みを行っているが、勤務態勢を見直して更なる柔軟な体制作りも今後必要と思われる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。しかし、取り組みを行っているのだが、研修会や学会に参加しない教員がいることが課題である。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	専任教員の講義では、リアクションペーパーでの授業の感想を元に授業内容の見直しを行っていたが現在は中断している。また、外部講師の講義内容は科目によっては一任している。	今後は専任教員、外部講師共に授業評価がおこなえる方向に向けて進めていきたい。	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	教務会議を行う等授業評価を実施していないわけではないが、リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	学則に基づき、定められた授業科目履修規定により、筆記試験、レポート提出等により、基準を満たし者について単位認定を行っている。	前期終了時と学年終了時に成績を送付している。また不合格科目の多い学生には再試験前に指導を心がけている。今後は、不合格にさせない為の取り組み方も考えていかなければならないと考えている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	臨床実習前に、班ごとに勉強した成果をクラスメイト、専任教員、また臨床実習施設指導者を交えた中でスライド発表として行い、採点を行う等の取り組みを行っている。	今後は、可能であれば下級生等の参加も考えてみる必要があるが、多人数の入る教室等がなく今後の課題といえる。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	学院での最終目標は、診療放射線技師免許の取得であり、国家試験を意識した授業内容を行うよう取り組んでいる。	1年次から最終学年次まで1科目も無駄な科目など無いと言うことを認識させ、積み重ねの大切さを理解させるような術の検討が必要である。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	目標とする診療放射線技師国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	最終学年では7月以降、留年生では4月以降、毎月国家試験模擬試験を実施し、個々の学習到達状況を把握し、国家試験に向けた対策につなげている。既卒者の受け入れも行っている。	国家試験への対策は最終学年からが本格的な指導となるが、昼間部生は前期が臨床実習となるため、現在2年次後半からの対策も必要と考えている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	診療放射線技師国家資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	本校は就職率100%を維持している。	長年就職率100%を維持し続けているが、大学3年次編入学という進学への指導も積極的に行っていきたい。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	2019年度の診療放射線技師国家試験の新卒合格率は88.6%であった。	2020年度は90%以上を目標に、更なる指導を行う必要がある。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	対策授業や補講、実力試験の実施等、診療放射線技師国家資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携を強化し、全教員で取り組んでいただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時や新学年次始めに、必ず担任が面談を行いコミュニケーションを図ることで、相談しやすい環境作りに取り組んでいる。特に相談件数の多い就職の相談においては、放射線技師免許保持の教員全員が対応可能である。	放射線技師科は昼間部と夜間部があることから相談時間が限られる場合もあり、全教員が必要に応じて相談に応じられる体制が必要で、情報共有も密に取る必要があると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学費の猶予・分納相談に対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。夜間部生に対しては、医療現場での仕事の紹介も行っている。	希望者全員に病院(医療現場)での仕事を斡旋出来ないところが課題として上げられる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時の個人面談時に、可能な範囲で家族のことや学校からの連絡先や連絡相手の確認を行っている。成績や学院生活等で必要に応じて連絡を取り合っている。	特に今まで大きな問題は生じていないが、国家試験に対する自宅学習時の指導等、密な連携を要する学生もおり、対策を図る必要も今後生ずると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	診療放射線技師養成所指導ガイドラインで定められている教育上必要な機械器具、標本及び模型を整備している。	開校当初に揃えた用具や機器は古くなったものも多く、今後は用具や機器の更新の必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定められたが防災訓練を実施していない。また、帰宅困難時の備蓄や災害時安否確認のシステム構築ができていない。	築40年以上の校舎であることから、早急な耐震補強や備蓄、安否確認システムの構築が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されているが、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校ガイダンスに積極的に参加し、また高校進路指導部対象相談会を実施し、情報提供も行っている。	18歳人口の減少、2019年入試では医・薬といった資格系が不人気とのデータもあり、今後更なる情報提供が必要となると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生の受入募集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校訪問に加え、業者主催の進学相談会に積極的に参加し、またオープンキャンパスと学校見学会も積極的に実施している。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	18歳人口の減少と、高い就職率、大阪府内養成校(大学)2校の増設という厳しい状況下のため、定員確保が難しい状況である。その中でも特に2部(夜間部)の定員確保は非常に困難な状況であり、将来的に2部(夜間部)をどの様にしていくのか結論をだすためには、第二学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の可否は入学選考基準により適正に審査されている。また受験生は減少傾向にあり、特に2部(夜間部)の減少が著しい。	2部(夜間部)におけるAO入試を、社会人向けにわかりやす広める必要性があるのではないかと。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令等の遵守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時に学生便覧に基づき、SNS規定等しっかりとオリエンテーションを行っている。また、臨床実習前にはガイドブックを用いたオリエンテーションと同意書の提出を求めている。	学院内における情報の取扱、臨床実習時の患者情報の取扱、電子記憶媒体の取扱など、事あるごとに必ず全員に伝わるようにする必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規定を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員個々が年間計画を立てて4 月、10月、年度末に自己評価と教 務部長、教務主任と面談を行って いる。	個々の問題点を教務の問題点とし て、教職員全体で共有し改善に役 立てる必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善 を行っている。
	9-4 自己点検結果を公 表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。